



学校だより (18)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

集会に思うこと

校長 福原輝幸

日本の学校で、校長をしていた時、週に一回集会があり、校長の話の時間がありました。そこでは、何を子どもたちに語るのか、事前に資料を集め、構想を練らなければなりません。

先輩の校長先生から、何を子どもたちに語るのかではなく、他の先生に何を語らせるのかを考えることが大切だとの話を聞かされました。

惜しくも今は亡き大先輩の校長先生からは、台が上がって、子どもたちと朝の挨拶（あいさつ）を交わし、それ以上は何も語らず一呼吸おいて、台から降りることが出来たら一人前の校長になった証（あかし）であると指導を受けたことを思い出します。

ところで、子どもたちに10のことを語ろうとする時、12も15も、時には20も語らなくては気のすまない時があります。

これは、後で振り返って見ると美しくありません。後味（あとあじ）も大変によくなく後悔（こうかい）もします。

美しいものには「余韻（よいん）」があります。

「余韻」は拡散（かくさん）ではなく圧縮（あっしゅく）、過度（かど）ではなく抑制（よくせい）から生まれます。

子どもたちに美しく余韻を持たせて10のことを語ろうとするならば、3か4せいぜい5を語るだけで、10以上のことが伝わるよ

うに煮詰（につ）めなければなりません。

竹

萩原 朔太郎

（はぎはら さくたろう）

光る地面に竹が生え、
青竹が生え、
地下には竹の根が生え、
根がしだいにほらそみ、
根の先より繊毛（せんもう）が生え、
かすかにふるえ。

かたき地面に竹が生え、
地面にするどく竹が生え、
まっしぐらに竹が生え、
凍（こお）れる節節（ふしぶし）
りんりんと、
青空のもとに竹が生え、
竹、竹、竹が生え。

< お願い >

本日、お子様を通して、運動会のプログラムを配布いたしました。

本年度の運動会は、子ども主体の、子どもが核となる運動会です。

子どもが放送、用具、審判、採点等々の係りを、先生の指導の下に、担当します。

競技・演技の頑張りとお助け合う姿だけでなく、係りの姿にも、大きな励ましと声援を与えていただきますとともに、ご家族そろって来校いただきますようお願い申し上げます。

観覧には、名札を着用下さい。

保護者の皆様へ

当日は、子どもの頑張る姿に応えるべく社会人として模範となる行動を。（裏へ）